

随意契約理由書

1 業 務 名	2024年度海外の有料道路事業の実態及び課題に関する調査業務
2 業 者 名	日本高速道路インターナショナル株式会社
<p>本業務は、①グローバル化が進み、デジタル技術を活用した維持管理・安全管理・生産性の向上の発展が目覚ましい世界の技術・状況の集約 ②経済発展が進むASEAN諸国のメンテナンスの最新動向・導入技術に関する事例の収集 ③諸外国の道路運営・維持管理・建設事業に関するPI（市民参加）や広報の知見を収集し、取りまとめることを目的としている。これらは、経営計画の達成や「阪神高速グループビジョン2030」の実現の可能性をより高めていくことに資するものである。本業務における調査項目は、「先進技術を活用した維持管理等に関する取組事例・技術調査」、「ASEAN諸国における道路運営・維持管理に関する最新事例調査」、そして「海外の道路運営・建設事業・維持管理等に関するPIや広報等の事業展開の取組みに関する事例調査」とする。</p> <p>本業務の円滑かつ効率的な実施のためには、日本の高速道路会社の制度・維持管理技術・ノウハウに精通していること、当社の意図を的確に汲み取れる体制が必要である。また、海外における広報やPIを含む道路事業制度、環境への配慮、そして道路及び構造物の建設や改築・更新の実態について、高い情報収集力を有していることが必要である。</p> <p>日本高速道路インターナショナル（株）は、国際社会・経済の持続的発展・成長に寄与することを目的として、高速道路事業の技術及びノウハウを集約し、国際社会において高水準で効率的な高速道路事業を提供するために、高速道路各社が出資し設立した会社である。同社は先進国、ASEAN諸国を含む新興国の双方の海外道路PPP事業に実際に出資、あるいは参画を企図し、新興国の有料道路インフラ・アセットの運営・維持管理に直接関わっていることから、現場で導入されている技術や広報手法に関する豊富な知識・経験を有している。また、これまでの業務遂行を通じて得られた、国内外の道路関係機関に対する情報収集網及び協力体制を保有している。さらに、日本の高速道路会社の制度・技術・ノウハウにも精通しており、当社の意図を的確かつ迅速に反映して業務を行うことができると言える。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	
阪神高速道路株式会社契約規程第2条第1号の規定による。	